

○登場人物

・風見仁（30歳） 珈琲の移動販売（キッチンカー）で全国を旅している。飄々とした振る舞いだが、旅の目的は「夢探し」であり、色々な出来事に自ら巻き込まれに行く。

・品川智則（23歳） パチンコで散財し、アパートの家賃が払えない金欠な貧乏人。心配性な性格。フリーター。高校時代からの友人兼同居人の火村俊之と犯罪で一気に金儲けを企む。

・火村俊之（23歳） 智則の旧友で、同居人。同じくパチンコで散財。陽気な性格だが、いざと言う時はかなり奥手。気持ちが高まると田舎口調に（青森弁）。犯罪で金儲けを企む。
タイトル…夢探しの風見珈琲

序盤

シーン1

都内の公園。キッチンカーで珈琲を販売している風見仁。お客さんが並んでいる。

仁「いらっしやいませ〜、香り豊かな風見珈琲はいかがですか？」

智則と俊之がキッチンカーに近づいてくる。

智則（小声で）「誘拐か、銀行強盗か、どっちがいいかな？」

俊之（小声で、田舎口調で）「いや、やっぱ銀行強盗だべさ。誘拐はリスク高えんだわ。」

仁「お二人さん、なにやら物騒な話してるけど、何かあったの？」

智則「実は、家賃が払えなくてさ、犯罪で一気に金儲けしようって考えてるんだ。」

俊之「でも、正直自信ないんだよね。だから、銀行強盗の予行演習に付き合っただけだ。」

仁「（こんな二人なら放っておいても大丈夫だろう）：まあ、付き合ってみるか。」

中盤

シーン 2

数日後。再び公園にて。かなり落ち込んだ様子の智則と俊之がキッチンカーに来る。

仁「おい、お二人さん。何があっただんだ？」

智則「銀行強盗しようとしたんだ。」

仁「詳しく話してみなよ。」

シーン 3

回想シーン。町の銀行前。智則と俊之が銀行に入る。

智則（小声で）「よし、行くぞ。お前、後ろ見てろ。」

俊之（小声で）「了解だべ。」

二人は緊張した面持ちで銀行に入る。カウンターに近づき、智則が深呼吸をする。

智則「すみません、お金を全部！」

銀行員「智則君？」

智則が驚いて顔を上げると、銀行員が高校時代の同級生であることに気づく。

智則「え？佐藤？久しぶり！どうしてここに？」

佐藤「ここで働いてるんだよ。智則君もしかして、口座作りに来たの？」

智則「あ、ああ、そうだよ！口座作りに来たんだ！」

俊之が焦って近づく。

俊之「お、おう、久しぶりだな。」

佐藤「君もいたのか！二人で口座作りに来たのか？じゃあ、手続きするね！」

二人は結局、口座を作る手続きをして銀行を後にする。

シーン 4

公園のキッチンカー前に戻る。智則が話し続ける。

智則「…ってことで、銀行強盗は失敗した。」

仁「なるほど。それで次は誘拐を？」

俊之「そうだべ。次こそは成功させるつもりだったんだ。」

シーン 5

回想シーン。夜の街。智則と俊之が帰宅中の女学生を見つける。

智則「あの子だ。行くぞ。」

俊之「了解だべ。」

二人は女学生を追いかけるが、彼女が突然橋

の上で立ち止まり、欄干に登り始める。

智則「お、おい、何してるんだ！」

女学生「もう、全部終わりにしたい……」

智則と俊之が急いで駆け寄り、女学生を引き戻す。

智則「ちょっと待って、何があったんだ？」

女学生「学校でいじめられて……もう生きてい

くのが辛い……」

俊之「そんなこと言うなべ！まだ人生これから
らだべさ！」

二人は女学生を励まし、その場で彼女を守る
ことを誓う。結局、彼女を家まで送り届ける
ことに。

シーン

再び公園のキッチンカー前に戻る。

智則「…ってことで、誘拐も失敗した。」

俊之「まさか、救助することになるとは思わなかったべ。」

仁「なんだか、君たちらしい結末だな。」

智則と俊之が決意を語る。

智則「もう犯罪はやめだ。まっとうに働いて金を稼ぐよ。」

俊之「そうだべさ、まっとうに生きるのが一番だ。」

仁「それがいい。俺もまた旅に出る準備をするよ。」

智則と俊之が去り、仁が店を片付け始める。

仁「…あれ？俺の店を強盗すればよかったんじゃないか？ま、いいか。」

仁はキッチンカーに乗り込み、エンジンをかける。

仁「さて、次の街へ出発だ。」

キッチンカーが公園を去っていく。

END